



# にこにこ通信第 155 号

2008/02/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店 沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は私の人生修行のひとつとしてひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

謹白。

一 書式の見直し

ご覧の通り、本号は前号と様式が異なっています。

先日、或る人から字を大きくして見易くする事、用紙をA4にする事をご提案いただきました。

同様な意見は、本通信発刊直後から、何人かの方々より何度か、いただいていたのですが、発刊当初はともそんな余裕はありませんし、その後も、自分の手法を変えてうまくいくか、自信がなかったのと、なんとなく煩わしい思いで、漫然とそのまま続けて来ました。今、新にご意見いただき、これに挑戦しようと思いました。

挑戦の理由

一、先号、第一五四号の第二項の通り、私の「思いやり協調性に欠けあくまで自己主張を通そうとする融通の利かない性格」を少しでも和らげるため。

二、短い文章で自分の意見をどれだけ表現できるかという事に努力するのも修行のひとつだと思う。

「俳句は五七五の少ない文字の中でいかに自分の思いを表現するのを楽しむのだ」ということを聞きました。そこには、一字一句に至るまで吟味し尽くし、表現における「凝縮の美」というものへの探究心が感じられます。この心にならい、今後は、自分の意見を一方的に書き殴るのではなく読む人の身になって、多くなくても、重大なことでもなくとも、読み易く解り易く、その上(味わい深く品のあ)る文章を心がけたいと思います。

それで本号から、テーマを決め

てシリーズとして載せるものと、それ以外のものとの構成で、しばらく進めて行こうと思います。

その第一弾は富山県観光連盟が出している「富山方言番付」。

**東の横綱『きのどくな』**

意味|| 「気を煩わして気の毒だ」という意味から、「すみません」「ありがとう」の意に用いる。

「こないだ、うちのこ、あんとこの窓ガラス割ったそうで、きのどくな」|| すみません。

「あんだ、いつも、きのどくな」|| ありがとう。

**西の横綱『きときと』**

意味|| 「生き生き」。

「この鰯、きときとやがいねん」とか「夜、遅いかに、きときと目しとつぜ」のように用いる。

来月、第一五六号「富山方言番付」

東の大関『だら』

西の大関『まいどはや』

ではまた来月、乞うご期待。